

2024年2月9日

受験生のみなさま
関係各位

日本女子大学

2024年度一般選抜（個別選抜型、英語外部試験利用型）における出題ミスについて（お詫び）

このたびの2024年度一般選抜（個別選抜型、英語外部試験利用型）のうち、2月1日（木）文学部（選択科目「日本史」）において下記の通り出題ミスがありました。

今回のミスにより受験生、保護者並びに関係者の方々に多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びするとともに、今後このようなことが起こらないよう入試業務全体のチェック体制を強化し、再発防止に万全を期す所存でございます。

【本件に関する問い合わせ先】

日本女子大学入学部入試課

TEL 03-5981-3786

記

1. 対象学部
文学部

2. 試験科目
選択科目「日本史」

3. ミスの内容

Ⅱ 問6 設問では、応仁の乱（下線5）の影響で政治的・経済的な力を失った一条兼良（問5の人物）が伝統的文化の担い手として有職故実書を著したと読める文章に続き、一条兼良が書いた有職故実書の書名（「公事根源」）を問うたが、同書は1422年の成立とされ、応仁の乱（1467～1477年）以前の著作であることから、問題文の趣旨にそぐわないとして受験生に混乱を与える要素がありました。（以下参照）

問5の人物は、下線5の影響により政治的・経済的な力を失い、伝統的な文化の担い手として有職故実書を著した。この書名を解答欄に漢字で答えなさい。

4. 対応措置

当該設問を全員正解として扱い、採点を行いました。この措置は合格判定前に実施しましたので、追加合格等はありません。

以上